

体育祭 No.1 完全燃焼!



五月二十七日。私たちにとって中学校生活最後の体育祭が行われた。昨年は、すべての競技で一位をとったこともあり、クラス全体が昨年以上に気合を入れて練習に取り組んだ。

練習では先生の指示で動くのではなく、体育委員の山崎くんや競技、召集委員が中心となって指示を出した。全員が早めに練習場所に集合して準備をし、すぐに始められ



見事なバトンパス!



体育祭後、最高の笑顔

反省点としては、練習に熱が入り過ぎて怪我人が出てしまったことだ。文化祭は怪我や体調に注意を払い、万全の状態で臨みたい。文化祭も完全燃焼だ!! (荒堀)

学修旅行 思い出の地 Best 3

四月二十五日から三泊四日で行われた学修旅行。コロナの影響で行先が京都から東北に変わり、宮城、岩手、函館の行程となった。思い出の地は沢

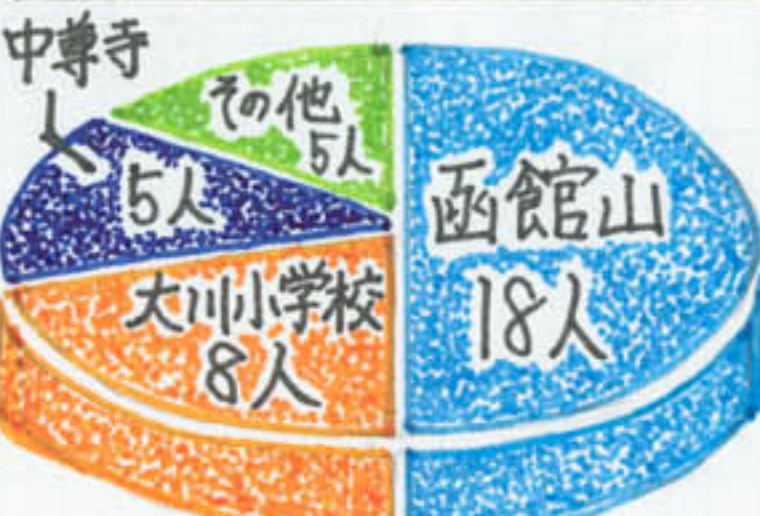
山あるが、特に印象深い三つを紹介する。

① 大川小学校
東日本大震災で七人の児童が犠牲となった。ガイドさんも娘さんを亡くされたという。悲しみを胸に被害の大きさを当時の様子を語る姿に心打たれた。

② 中尊寺
教科書で見た金色堂が鮮やかに堂々と存在した。直近で見ることができた。

③ 函館山
強風でロープウェイが運休。しかし頂上から見えた夜景は寒さを吹き飛ばす宝石箱のような美しさだった。

このように、多くの思い出と協力し合う中で深めた3Aの絆は私たちの心の財産だ。(森山)



学修旅行で印象に残った施設



津波の爪痕



真剣な授業風景

役員 学級のオススメ

今回の学級委員のオススメは小説。タイトなストーリーが読者の心を掴み、戦争の悲惨さを伝える。『君とまた出会えたら』が感動的。『戦争をテーマにした小説で、中学三年生だ。』のユリが、一九四五年(山本琉)に読んでほしい一冊だ。

進路を
考える
中学校三年生は、進路について考えなければならぬ時期だ。進路とは「この高校に行きたいか」だけではない。「将来何になりたいか」を考

えることも重要。将来を見据えることで高校の選び方も変わってくる。自分自身は将来何になりたいのかを考えると、今取り組んでいる勉強に興味が出てくるのではないだろうか。

高校進学のための受験勉強を計画的にこまめに進めることも大事だ。そして自分の可能性ややりたい自分のイメージを今のうちに作るのも大事な時間の使い方だ。(荒堀)